

事務事業名		後期高齢者医療費負担金					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					事業区分	担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり						担当係	長寿医療係	担当課長名	片柳 利幸		
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	4 後期高齢者医療制度の円滑な運営						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	5250	一般	3	1	3	後期高齢者医療費負担金							
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成20年度～ 年度			根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、栃木県後期高齢者医療広域連合規約						
							市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
							任意的事業・義務的事業	義務的事業					
							実施方法	直営					
							事業分類	その他内部事務事業					
							リーディングプロジェクト	該当なし					
							市長マニフェスト	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
○ 後期高齢者医療被保険者が医療に要した費用のうち、診療報酬現物給付(診療・投薬・処置・手術・入院等)、現金給付(柔道整復師・補装具・移送費・針・灸・マッサージ・一般診療等)の公費分(負担比率 国4/12、県1/12、市1/12)を広域連合へ医療給付に要する経費の負担金として納付するものである。			○ 後期高齢者医療制度を安定的に保つため、広域連合へ医療給付に要する経費の負担金を納付した。 19節負担金910,752千円								
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			被保険者数(3月31日現在)	人	16,276	16,359	16,595				
			診療報酬費用額(佐野市分)(広域連合調べ)	千円	12,315,129	12,330,204	12,345,000				
広域連合への医療給付に要する経費の負担金(佐野市分)	千円	947,416	910,752	988,728							
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
○ 被保険者(75歳以上、一定の障がいのある方で65歳以上74歳までの方)の医療に要する費用である。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			診療報酬費用額/被保険者数(佐野市分)	千円	757	754	744				
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
○ 公費負担を実施することにより後期高齢者医療制度を安定的に保つことが可能になること、加えて被保険者の方が安心して医療を受けることができるようになるものである。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
			医療給付に要する経費の負担金/被保険者数(佐野市分)	千円	58	56	60				
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
○ 75歳以上の高齢者が健康づくりと疾病予防ができるとともに、安心して医療を受けられる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
			後期高齢者医療保険料収納率	%	99.6	99.6	99.4	99.4	99.4		
			後期高齢者健康診査受診率	%	15.7	16.5	16.0	17.0	18.0		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		947,416		910,752		988,728				
	事業費計(A)	千円		947,416		910,752		988,728		0		0
事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
		負担金	947,416	負担金	910,752	負担金	988,728					
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1							
	のべ業務時間	時間	75	75	75							
	人件費計(B)	千円	292	296	296		0		0		0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	947,708	911,048	989,024		0		0		0	

事務事業名	後期高齢者医療費負担金	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	長寿医療係
-------	-------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	○ 後期高齢者医療制度はそれまでの老人医療制度に替わり平成20年度に創設された。運営主体は県内すべての市町で構成する栃木県後期高齢者広域連合であり、これに各市町から医療費負担金を支出することになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	○ 年々、後期高齢者の増加と医療の高度化・高額化に伴い、医療費負担金も増加傾向にある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	○ 特にない。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	○ 後期高齢者被保険者(市民)の方が、安心して医療を受けることができることは、本市政策体系にも適っているものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	○ 「高齢者の医療の確保に関する法律」に規定されており、運営主体が、栃木県後期高齢者医療広域連合であり、県内市町が構成団体となっている仕組みから、市が関与しなければならないものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	○ 「高齢者の医療の確保に関する法律」及び「栃木県後期高齢者医療広域連合規約」において規定されており妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	○ 構成市町である本市が応分の負担をすることで、広域連合から被保険者の方に、医療費や保険料の面で、軽減された負担で済むような措置が取られている成果があがっている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	○ 「高齢者の医療の確保に関する法律」によって、事業費は負担割合が定まっており、人件費についても、最低の1名のみで事業を担っているため、削減できない状態にある。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	○ 市町村の負担割合は法定によるため。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
○ 法令の改廃、若しくは、医療保険制度の根本的な改正が行われない限り、廃止等は現実的ではないものである。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			